

今回の体育部報は、「私の願う部活動」についてです。

## 生徒にとっての大きな財産

岡崎市立矢作中学校 島 佑輔

残暑の体育館、2学期始業式。バレー部キャプテンの生徒Aは、2学期の抱負を述べるため登壇した。すでに1学期の終わりに代表生徒に立候補したAは、きっと全国大会出場の成果を誇らしげに語りたかったのだろう。ただ、結果は違っていた。…あの日も今日と同じ、暑い日だった。

東海大会準々決勝。相手は、岐阜県第1代表の各務原市立中央中学校。お互いに1セットずつ取り合っただけの最終セット。スコアは、21-24で相手のマッチポイント。相手のサービスをレシーブ、トス、何度も繰り返したいつも通りの流れるようなプレーでエースのAの頭上に絶妙のボールが上がる。迷うことなく真っ向勝負。渾身の力で打ったスパイクは、相手の高いブロックにシャットアウトされ、ボールがコートに落ちた。セットカウント1-2。全国大会出場の夢は絶たれた。

Aは、中学1年生のころからレギュラーとして活躍した。1年生の頃は市長杯で1回戦敗退、2年生では東海大会に出場している。そして最高学年になった今年、強い思いをもって大会に臨んだ。特に今年はキャプテンとなり、全国大会出場に懸ける思いは誰よりも強かった。

試合終了直後、Aは悔しくて納得のいかない表情を浮かべながら、涙を流した。あの日から半月が経過し、思いのほか清々しい表情で登壇したAは、まず夢が破れた経緯を淡々と語り、次に部活動に捧げた中学校生活を静かに振り返った。

「僕がバレーを通じて成長したのは、バレーの技術だけではなくありません。礼儀、集中力、筋力、忍耐力、精神力、感謝する力。バレーは僕を一人の人間として成長させてくれました。これから先、これほどまでバレーに熱くなることはないと思えるぐらい、部活に燃えました。」と語った。

私はその言葉を聞いて、部活動の意義を改めて考えた。

部活動を取り巻く環境は大きく変化しようとしている。しかし、部活動は、中学生にとって大きな成長の場となるため、今後も持続して行ってほしいと強く思う。学校生活は、学級・学年で過ごす時間が約7割を占め、今は、部活動で過ごす時間が多くはない。ただ、日々継続すること、自分で時間を創り出すことで、中学生はこれほどまでに自分の成長を実感し、今後の糧を手にすることができる。3年生の思いを受け継いだ新チームの目標も、生徒たちは全国大会出場を掲げた。Aも高校という次のステージでバレーを追求しようと決めた。私も負けずに子供たちの夢や目標を叶える結果や過程から、達成感や満足感を味わうことができる指導をしていきたい。そしてそれが、すべての人の財産として残ると信じ、教育活動をしていきたいと思う。

## 人から応援される選手へ

岡崎市立葵中学校 後藤 麻由

今年の夏、葵中学校女子陸上部は、県大会出場を目指していた。3年生の生徒Aと2年生の3人でリレーメンバーを組み、バトンパスの技術を磨いた。4人は、龍北陸上競技場に集まって自主練習も行った。そして、迎えた西三河大会では6位となり、県大会出場を決めた。4人は喜びを分かち合い、「県大会で上位を目指そう。」と自ら新たな目標を立て、より一層気持ちを引き締めた。しかし、迎えた7月。県大会当日、3年生のAは、体調不良により出場ができなくなってしまった。メンバーを変更する形となり、Aは、最後のレースで走ることのないまま部活動を引退してしまった。部としての目標は達成できたが、彼女たちの思いは達成されなかった。

夏休みのある日、部では9月の市民陸上大会で走るリレーの話題となった。2年生からは、「Aをメンバーに入れたい。」という声が挙がった。県大会で思いを果たせなかったのは、Aだけでなかった。後輩も同じように、悔しい思いをしていたのだ。率先して声を出すことでチームを引っ張ったり、困っている後輩に優しくアドバイスをすることでチームをまとめたりするAを後輩たちは慕っていた。Aが走ると分かったとき、2年生3人は、「入賞というプレゼントを先輩に送ろう。」と、新しい目標を立てた。

大会当日、生き生きとした表情で大会に臨む4人の姿があった。4走として駆け抜けるAの姿を、後輩たちは応援した。Aは自分の力を全て出し切り、笑顔でフィニッシュして、3年間の部活動生活に区切りをつけた。結果は2位入賞。Aは「走らせてくれてありがとう。」と、2年生3人に言った。後輩は「走ってくれてありがとうございました。」とAに感謝の言葉を伝えた。彼女たちの思いが達成された姿を見て、改めて素敵なチームになったと感じた。

部活動の指導で、私は常に「人から応援される選手を目指しなさい。」と話をしている。それは、自分の目標を叶えるためには、一人の力だけでは難しく、周りの人の支えが必要になると考えるからである。Aは3年間の部活動で、周りから慕われ、応援したくなるような選手に成長した。私は、とても頼もしく感じた。今後、2年生たちもAが練習で見せてくれたような姿を後輩に見せ、陸上部全体が、人から応援してもらえるようなチームに成長していくことを期待したい。今後も顧問として生徒の競技力と人間力の向上を目指して指導を続けていくとともに、自分自身も周りから応援していただけるような教師を目指したい。

### 授業力・教師力アップセミナー

中央総合公園武道館にて、7/26（水）に基礎編、8/2（水）に専門編を開催しました。基礎編 97名、専門編 32名の先生方が参加しました。研修班に分かれて、表現運動・武道・器械運動・球技の実技講習を行いました。



<基礎編 倒立前転>



<基礎編 表現運動>



<専門編 フットボレーボール>